

ハヤシミドリシジミ

Favonius ultramarinus ultramarinus

兵庫県：C

環境省：—

種の概要

前翅長15～23mm程度。翅の表面は♂では金属光沢をもった青緑色、♀では黒褐色で、前翅に黄白色の斑紋を有する。裏面はやや褐色みを帯びた灰白色で、後翅には尾状突起があり、W字形の白色条を備える。山地の落葉広葉樹林の疎林に生息し、幼虫はカシワを食べる。年1化性で、成虫は6月～8月に出現する。



写真提供：清水哲哉

国内分布

北海道、本州、九州

県内分布記録

宍粟市、佐用町、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○	○	○		

特記事項

BランクからCランクに変更

西播磨、但馬の旧12市町25箇所で記録はあるが、西播磨や旧朝来郡などの地域では1970年代に見られなくなり、2000年代で生息か確認できるのは10箇所以下となった。焼き畑起源のカシワの疎林が生息環境であるが、カシワ林に他の樹木が成長し、森林化が進行しているが、生息地の個体数は比較的安定している。

保護上の留意点